

## 新発田市 令和6年度 第8回定例記者会見

1 日 時 令和6年11月5日(火)午前11時～

2 場 所 ヨリネスしばた501会議室

3 内 容

### 【市長発表項目】

○新発田市総合チャットボット(子育て AI チャットボットのリニューアル)運用開始

○保育園の改築整備で脱炭素社会の実現へ

### 【その他】

○ふるさと民謡 in 蔵春閣

○新発田市人権啓発講座「幸せな高齢者になるために～笑って学ぼう！高齢者の防犯・安全～」

○令和6年度新発田市所蔵美術作品展「眼と手の協奏〈コンチェルト〉」

○11月の中央図書館の注目イベント！

## あいさつ

- 衆議院選挙も終わり、あとは11日の首相指名が一つの関心事かもしれません。直接開票結果を見ることはできませんでしたが、このような結果はほぼ予想しておりました。それでも自公が過半数ギリギリぐらいいかなと思っていましたが、終盤戦で2000万円の政党活動費が出た段階で、これは完全に大敗だと予想しました。
  
- 私どもと提携を結んでいるライスファクトリーのワッカジャパンが、ロサンゼルスに進出することになり、少しでもその市場を開拓したいということで、アメリカへトップセールスに行ってきました。ロサンゼルスの3世4世の子どもたちがバスケットの関係で、5年くらい前に新発田に来ました。そのときに大変親しくしていたスコットさんという方は、スーパー3つと寿司屋を経営しておりますので、スコットさんを中心にトップセールスに行ってきました。驚いたのは、スーパーで売っている刺身の鮮度は日本とほとんど変わらないということです。そこで、寿司を買って食べてみましたが、これがおいしくなかったです。ネタがこれだけいいのにシャリがこれではということで、スコットさんにストレートに話をしてきました。スコットさんは、値段がどうしても気になるわけでありますので、常時、コシヒカリを使用するのはコスト的に厳しいのであれば、イベントのときにコシヒカリの寿司とカリフォルニア米の寿司という二本立てでやったらどうかと提案しました。ロサンゼルスの皆さんにも、コシヒカリの寿司のおいしさが分かってくれば、ある程度値段が高くても買っていただけるのではないかと話をしました。ニューヨークにも行ってきました。ニューヨークで一番大きい日本料理レストランが、輸出する新発田産米の約3分の2を使用していたのですが、昨年の米の不出来が影響して、全部北海道の米に代えてしまったので、何とかまた使ってもらいたいという願いをしてきました。そのとき面白かったのは、何とか越後姫を輸出してくれないかという話でした。検疫で1週間から10日くらいかかるそうなので、問題は日持ちにどれだけ耐えられるかということです。いずれにせよ新発田産米に限らず、新発田牛や越後姫にも興味を持ってもらったということが一つの前進だったと思っています。最終日に、新発田産米を使ってくれている高級寿司屋に行ってきました。大変おいし

い日本料理を出していただき寿司も食べましたが、コシヒカリではなく新之助を使っていました。新発田産の新之助を使っていただき大変うれしく思ったところであります。

**それでは、会見項目を説明いたします。**

**はじめに、新発田市総合チャットボットの運用開始についてです。**

○当市では、昨年12月から「子育てAIチャットボット」を導入しており、皆様の子育てに関する疑問や悩みに寄り添い、安心して育児に励んでいただける環境を整えてまいりました。

○このたび、この「子育てAIチャットボット」に、住民票や戸籍の取得などの暮らしの手続きについて回答する機能や、ごみの分別や出し方について回答する機能が新たに加わり、「新発田市総合AIチャットボット」としてリニューアルいたしました。

○これまでと同様に、総合チャットボットも、市のホームページ上から、いつでも、どこでも、どなたでも利用でき、子育てに関することや暮らしの手続き、ごみの分別など、皆様の身近な質問にお答えします。

○お手元の資料に掲載のURLもしくは、QRコードからアクセスできますので、是非ともお試しください。御感想などをお聴かせいただければと思います。御利用される皆様からの御意見などをもとに、さらに使いやすく便利なツールとなるよう、引き続き、改良・改善を進めてまいります。

○そして、このチャットボットのみならず、各種の行政サービスにおいても積極的にDXを推進し、市民の皆様の利便性向上に努めてまいります。

## 次に、保育園の改築整備による脱炭素社会の実現についてです。

- 当市は、令和 3 年の市議会 6 月定例会において、「2050 年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指し、脱炭素社会の実現に向けて取組を進める」とした、いわゆる『ゼロカーボンシティ宣言』を行いました。
- この宣言の下、老朽化した大峰保育園の建替えにあたり、環境省の補助金(※1)の採択(※2)を受け、『ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)』の取得を目指しています。
- 具体的には、高性能な断熱材や窓、高効率エアコン、LED 照明、太陽光発電設備、蓄電池などを導入し、災害時には乳幼児とその家族を受け入れられる福祉避難所として機能させるとともに、新発田市産の木材を利用するなど、SDG's の推進にも貢献します。
- 工事は、令和 7 年 1 月に着手し、同年 12 月に完成予定で、オープンは令和 8 年 3 月頃を見込んでおります。
- ZEBは、エネルギー消費量を 100%以上削減する『ZEB』、75%以上削減する「Nearly ZEB」、50%以上削減する「ZEB Ready」に分類されますが、大峰保育園は最高ランクの『ZEB』の取得となり、これは、中部地方の自治体では初めて、全国の自治体でも 6 例目、保育施設では全国 3 例目、公設保育施設では全国 2 例目となります。
- なお、当市を創業の地とし、県内に広く店舗を展開しておられる、株式会社ウオロクホールディングスさんにおかれましても、この度、新発田市内のウオロク緑店の建替えに際し、同補助金の採択を受けており、新発田市ではダブルでの『ZEB』取得を達成することとなります。

- 「住みよいまち日本一」を目指す私たちは、現在の市民の皆様はもとより、将来の市民の皆様に対しても責任を持ったまちづくりを進めなければなりません。
- この度の『ZEB<sup>ゼブ</sup>』取得をはじめ、今後も官民一体となって、より一層、脱炭素社会の実現へ向けた取組を進めてまいります。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますよう、よろしく願いいたします。